

商経アドバイス 非常食6万食を寄贈した記事が掲載されました

9月1日の『防災の日』に向け、

島根県に5万食・出雲市に1万食の非常食を寄贈した内容を掲載いただきました。

非常食 6 万食を寄贈

防災の日の前にアルファー食品(株)

アルファー食品(株) (島根県出雲市) は「防災の日」9月1日の前に、島根県と出雲市に非常食としてアルファ化米6万食

を寄贈した。8月29日には県庁、30日には市役所でそれぞれ贈呈式を行った。

近年、日本各地で地震や豪雨など災害が多発していることもあり、同社は市民らが安心して暮らせるまちづくりの一環に役立ててもらうため、県に個食タイプの「安心米」と炊き出しタイプの「災害用」1万食を寄贈した。いずれもお湯を注いで15分、水でも60分で簡単にご飯ができて上がる。安心米は、袋にお湯か

溝口知事(左)と篠原社長

寄贈した安心米

水を注いで添え付けのスプーンで食べられる。災害時はダンボール風の外箱に4包装のコメと具材

を開けてお湯か水を入れ、箱を調理器具替わりにして50食分のご飯ができる。いずれも賞味期限は5年。

県庁を訪れた同社・篠原社長から寄贈されたエビシラフやドライカレーを試食した溝口善兵衛県知事は、「おいしい。味も何種類もあり、非常時には役立つと思う。たくさんのご寄贈に感謝したい」と述べた。